

(科目コード : 2000620152Y5)

【改訂】第18版(2016-03-07)

【科目】政治・経済

【科目分類】一般科目 【選択・必修の別】必修 【学期・単位数】通年・2単位

【対象学科・専攻】5組 2年

【担当教員】前期:加藤 健
後期:加藤 健

【授業目標】

成熟した市民になるために必要な政治や経済に関する基礎的な知識を修得することができる。
社会の仕組みを多面的に考察することができる。
現実起こっている様々な問題に対して自分の意見や立場を適切に表明することができる。
企業等における経済活動、選挙における投票、裁判員としての裁判への参加、憲法改正の国民投票のように、日本国民として必ず経験する(あるいは経験する可能性が高い)重要な事柄において、いかに自らの力で判断するのかという物事の思考のプロセスを身に付けることができる。

【教育方針・授業概要】

- ・本科目の総授業時間数は45時間である。
- ・前期では「政治分野」を、また後期では「経済分野」を学習する。
- ・政治分野では、民主政治の基本原則、日本国憲法と基本的人権、日本の政治機構と政治課題、国際政治、日本の平和主義と国際平和について取り上げる。
- ・経済分野では、経済社会の変容、現代経済の仕組み、現在と過去の日本経済、国際経済について取り上げる。
- ・時事問題に適宜触れることで、現代社会の抱える諸問題の理解を深めていく。

【教科書・教材・参考書等】

資料集:『最新政治・経済資料集(新版)』:第一学習社

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

講義形式で進める。
授業用プリントを適宜配布する。

【メッセージ】

毎回の講義で取り上げるトピックについて、皆さん自身で積極的に考えたり調べたりしてほしい。

【成績評価方法】

[前期]中間試験:40%,期末試験:40%,課題点(感想文、ノートなど):20%
[後期]中間試験:40%,期末試験:40%,課題点(小論文、ノートなど):20%

【本校の学習・教育目標】

(A-1) 人文社会系の科目の学習を通じて、人間文化と社会生活について理解する。

【授業計画】(政治・経済)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
第1回	イントロダクション	・「政治・経済」の学習について ・現代社会における政治・経済問題	感想文	
第2回～第3回	民主政治の基本原則	・個人の尊重と法の支配		
第4回～第6回	日本国憲法と平和主義	・日本国憲法の成立過程と理念 ・国際平和と日本の役割 ・国際連合の役割と課題		
第7回	日本国憲法と基本的人権()	・基本的人権と平等権、自由権		
第8回	中間試験			
第9回～第10回	日本国憲法と基本的人権()	・基本的人権と社会権、参政権、請求権、新しい人権		
第11回～第12回	日本の政治機構()	・国会の仕組みと役割 ・内閣の仕組みと役割		
第13回～第14回	日本の政治機構()	・裁判所の役割 ・少年法と少年審判 ・裁判員制度		
第15回	政治参加と民主政治の課題	・政党と選挙制度 ・世論の形成と行政機能の拡大	ノート提出(前期)	
第16回	経済と経済学	・経済学の考え方		
第17回～第19回	現代経済の仕組み()	・市場のはたらき ・現代の企業		
第20回～第22回	現代経済の仕組み()	・経済成長と景気変動 ・金融の役割		
第23回	中間試験			
第24回	現代経済の仕組み()	・財政の役割と租税		
第25回～第27回	経済社会の変容	・資本主義経済の成立 ・社会主義経済の形成と変容		
第28回	現在と過去の日本経済	・日本経済の歴史と現状	小論文	
第29回～第30回	国際経済の動向と日本の役割	・国際貿易と貿易体制 ・外国為替 ・グローバル化の中の日本経済	ノート提出(後期)	